

社会福祉法人 日生会

ふたば新聞

Vol,18

日頃より私ども、社会福祉法人日生会に対しましてのご厚情、並びに深いご理解により心より感謝申し上げます。

今年度の事業計画は 3 つの挑戦を掲げ、遂行して参りたいと思います。

ひとつめは、去年度から引き続き入居者並びに職員の「安心と安全」を第一に、コロナ禍への対応に全力で取り組み、また、去年度やれなかった行事や研修をコロナ禍でも工夫すれば取り組める運営にチャレンジ致します。

ふたつめは、組織基盤(チームワーク)の強化です。

各部署ならびに個々に所属する職員一人ひとりの役割と責任を再確認していきたいとおもいます。各事業所で「単年度計画」と「長期計画」を作成し職員教育に力を入れ、いかに職員一人ひとりが考え、個々の役割を達成する事で思いやりのあるチームワークを作り、利用者主体のサービスの追求に徹して参りたいと考えます。各部署が職員一人ひとりのコミュニケーションを増やす事をチャレンジ致します。

最後に、今年度から広報活動に積極的に取り組んで参りたいと考えます。

現在、IT 化が進み、情報社会に福祉施設も柔軟に対応していかなければならないと思います。まず、ご家族・入居者・地域の皆様・社会のあらゆる方々が「知りたい」「教えて欲しい」事など施設が発信出来る事をチャレンジします。

社会福祉法人 日生会

理事長 佐土原 護



バラ苑

特別養護老人ホーム

皆様のご協力と施設運営に対してご理解を頂き、誠に感謝申し上げます。市街地から少し離れた緑豊かな中にバラ苑があります。中庭からは、阿蘇の山並みを望むことができ、心地よい風が吹きます。視覚障害の方も高齢の方も皆様が安心して生活ができる環境と介護、看護、栄養、機能訓練それぞれに特化した職種が連携し、利用者様ひとり一人に寄り添った支援を行っております。

今年度の取り組みと致しまして利用者様に寄り添い、毎日笑顔で生活して頂けるよう職員一体となり支援していく事を目標に日々精進して参ります。
また、感染症予防には十分に気を配り感染拡大防止に努めて参ります。これからも末永くよろしくお願い致します。



バラ苑 部長
高田

盲養護老人ホーム

日頃より熊本めぐみの園の運営にご協力とご理解を頂き、厚くお礼申し上げます。熊本県で唯一の視覚障がいの高齢者のための養護老人ホームです。一般型特定に移行し、自立から要介護の方が最期まで安心して過ごしていただけます。職員は、アイマスク等を用いて、視覚障がいの疑似体験を取り入れた研修を受け「利用者様に寄り添った介護」「安心して楽しく生活できる場」を支援しています。利用者様と職員の笑顔と笑い声が絶えない楽しい施設です。

利用者様に「ここに来て良かった」と感じてもらえるように施設の雰囲気作り、環境整備にも取り組み、視覚障がいの施設として専門性の高い介護を提供していく必要があると考えております。多職種が連携し、利用者様やご家族の方からも信頼していただけるよう努力していきたいと思っております。



めぐみの園 副部長
大野

めぐみの園

2018年5月に企業主導型保育園として開園し、今年で4年目を迎えます。自社従業員や提携企業様のお子様、地域のお子様を最大19名、一時預かり事業で1日3名のお子様をお預かりしております。子どもたちが安心して過ごせる環境作りを心掛け、働きながら子育てをされる保護者様に寄り添った保育園です。毎日、子どもたちの笑い声が園庭に響き渡る保育園で、職員同士も仲良く、小規模保育園ならではの家庭的な雰囲気を大切にしております。年齢に応じて身体を使った運動遊びや感触遊び、子ども自らが話合いながら自分たちの活動をしていく「子ども主体な保育」を取り入れています。毎日が「発見」と「体験」の連続。子どもたちも職員も共に成長している保育園です。

病児保育

おはな



子どもは大きくなるまでにたくさんの病気をします。子どもの突然の病気は、働く保護者様にとって「子どもの心配」と「仕事への責任感」等で悩まれる方が多くいらっしゃいます。病児保育おはなは、急性期の病気でおおむね1歳から小学6年生までのお子様を連携医師や看護師、保育士がいる安心した環境でお預かりしています。

お子様が病気のとき、「頼れる人」「安心して過ごせる場所」がありますか？病児保育では、お子様とその保護者様に寄り添い、心のこもった看護保育を日々提供しております。ぜひ、お子様が病気でお悩みのときは、私たちを頼ってください。皆様の子育てを「病児保育おはな」は応援しております。



あいな保育園・病児保育
園長 工藤

あいな保育園



バラ苑 副部長
小澤

日生会栄養部では食事は生きるために必要な栄養を摂る為以外にも生活をしていく上で大きな楽しみでもあると考えております。毎日の食事をより楽しんでいただく為に、バイキングや複数献立、お弁当の日等を毎月実施し、旬の食材を取り入れた行事食を提供しています。また過ごしやすい気候の時には、ガーデンランチを行い、いつもと違う雰囲気でお食事を楽しんでいただいております。施設で生活される利用者様、また保育園の園児のお子様にご飯を通して季節を感じて頂き、心豊かな日々を送って頂けるよう栄養士一同、今年度も楽しく仕事に取り組む所存です。

栄養

バニラハウス

認知症対応型共同生活介護

バニラハウスの管理者をしております原山義章と申します。
バニラハウスでは、利用者様がその人らしく安心して暮らせる場所作り、「笑顔で過ごせるホーム」を目標に職員一同、一丸となって日々、工夫をしながら利用者様の個性を大切にしております。

毎月「バニラカフェ」を開催し、コロナウイルス感染症が収束した折は、地域の方々へお声がけをさせていただき、参加いただきたいと考えております。職員が様々な催し物も計画中です。地域と共に歩める施設作りを目指しておりますので、今後ともよろしくお願い致します。



バニラハウス 主任
原山

認知症対応型共同生活介護

ステラの風の管理者をしております大久保恵です。
ステラの風は、利用者様9名が「その人らしく」「その人らしさ」を常に考え、寄り添い、利用者様やご家族様、職員が1つの「家族」のように暮らしていける「おうち」を目標にしております。
毎月、利用者様声であがった献立を「食の楽しみ」＝「希望食」に反映し、楽しんでいただいております。また、対話を大切にし、より良いケアに繋がるよう取り組んでいます。
コロナ渦ではありますがご家族との時間を考え、一緒に協力しながら利用者様支え合い、安全・安心な日々が過ごせるよう支援します。利用者様、ご家族、職員がともに笑顔あふれるホーム作りを目指します。



ステラの風 主任
大久保

ステラの風

浜美荘

養護老人ホーム

新型コロナウイルス感染症の拡大が懸念される中、日頃より浜美荘の運営にご理解御協力を頂き厚くお礼申し上げます。
浜美荘で働く職員が毎日笑顔で働ける施設を作ることがご家族や入所者様に対して最高のサービス提供につながると信じて「小さい花びらが寄り添って咲いているあじさいのように団結し、和気あいあいと!」を合言葉に選ばれる浜美荘を目指し、取り組んで参ります



浜美荘 施設長
門川

居宅介護支援事業所

居宅介護支援事業所アヤメは2017年4月より再稼働し、以後、離職率0の明るく楽しい事業所です。
今年度の目標は、「いつも!どんなときでも!笑顔で接する」があります。笑顔には、人の心を明るく幸せにするパワーがあると思います。私たちケアマネージャーが優しい笑顔と笑いで皆さまの心を明るく幸せにできるように、より皆さまの身近は存在になれるように、職員一同力を合わせて取り組んで参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。また、30～40代の脂たっぷり。在籍する5名の職員は美男美女粒ぞろいです。ご興味のある方は、一度遊びにいらしてください。お待ちしております。



アヤメ 部長
加来

アヤメ

短期入所生活介護

ツバキ

ショートステイツバキ担当者の中川貴之です。在宅介護をされている方々が一時的に介護を出来ない場合や介護負担軽減に短期間で介護のサービスを提供させていただいております。高齢者の心身状況や症状に合わせて日常生活全般の介護サービスを受けることができます。
前年度は新型コロナウイルス感染症の影響でクラブ活動やレクリエーション等、延期や残念ながら中止せざるを得ませんでした。今年度は、さまざまな感染症予防をしながらも季節のうつり変わりを感じられるような催し物や利用者様へ日々の楽しみを感じていただけるよう活動を提供させていただきたいと考えております。



ショートステイツバキ 部長
中川

居住支援法人 日生会



居住支援法人 副部長
大石

居住支援法人日生会の大石恵子です。

開設して今年で3年目を迎えた法人で、高齢者や障がい者、DV 被害者や子ども療育者、低所得者、矯正施設退所者、外国人等の方々への様々な支援等を行うと共に、訪問等による見守りや生活相談、就労支援を行っています。また、お亡くなりになった後の事務等の幅広い相談にも対応します。

相談者や要配慮者の方々に寄り添った対応を心掛け、様々な形での支援に取り組んで参ります。そして、信頼関係を構築させながら県内の行政や福祉、医療等、多方面の企業の方々とのネットワークを生かし、業務遂行に励んでいますので、何かお困りの際は、お気軽にご相談ください。よろしくお願い致します。

ブルー スター

特定相談事業所

令和元年より社会福祉法人に新たな事業として加わり、2年目を迎えます。障がいのある方が自立した日常生活または、社会生活を営むことができるよう、お一人おひとりに向き合い、必要なこと、悩みを聞き取り障がい福祉サービスや地域情報などを提案し、相談や助言をさせていただきます。安心して地域の中で暮らしていくお手伝いとなるようベストを尽くします。ブルー スターの「花言葉」＝「幸福の愛」「信じあう心」を大切し、地域のニーズに応えられる相談支援事業所として、職員一丸となって取り組んでいきます。障害福祉サービスの利用相談はもちろん生活のお悩み等、お気軽にご相談ください。



特定相談事業所 課長
古閑

リニューアル

ふたば新聞が少しだけリニューアルしました(^^)♪
今後も皆様に日生会の情報をお届けできるように精進してまいります！！



■本田様 … 菖蒲

ありがとうございました♪

寄贈